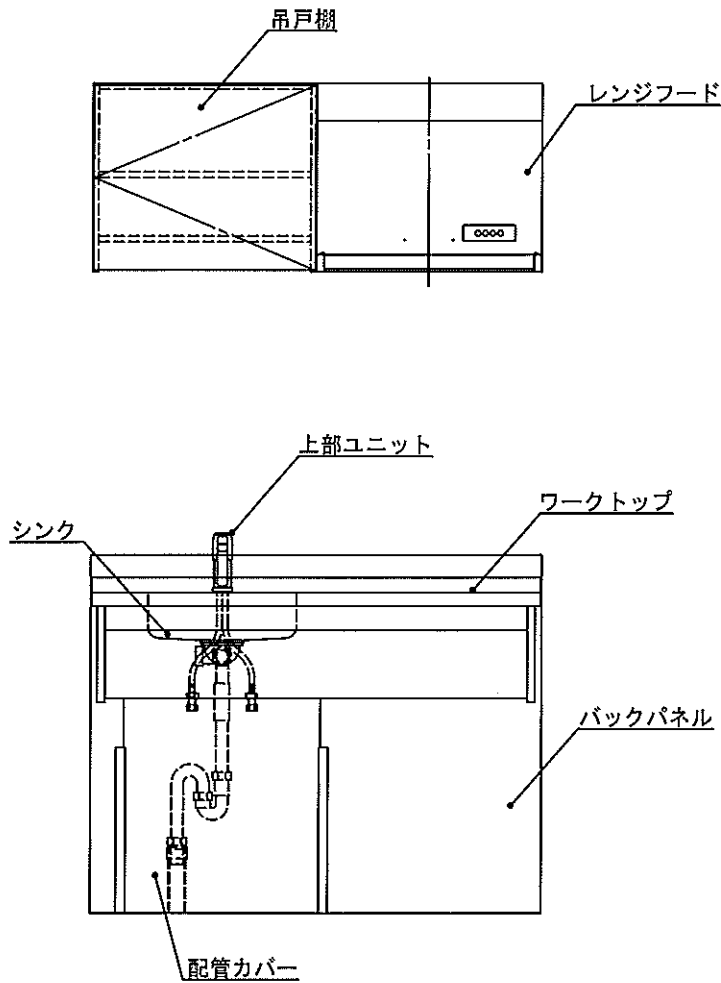
カウンターキッチン

取　扱　説　明　書

- このたびはカウンターキッチンをご愛用頂きまして誠に有り難うございます。
- ご使用前にこの説明書をよくお読み頂き正しくご使用下さい。
- この取扱説明書は大切に必ず保管して下さい。

各部の名称

安全に関するご注意

（ケガや事故防止のため、以下のことを必ずお守り下さい。）

・ここに示した注意事項は、守らないと人身事故や、家財の損害に結びつくものをまとめて記載しています。
・安全に関する重要な内容ですので、必ずお守り下さい。
・お読みになった後も、お使いになる方が、何時でも見られる場所に必ず保管して下さい。
・転居される場合は、新しく入居される方が製品を安全にお使い頂く為に、この取扱説明書を新しく入居される方、又はお取次ぎされる方にお渡し下さい。

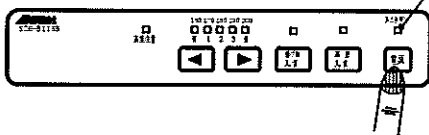
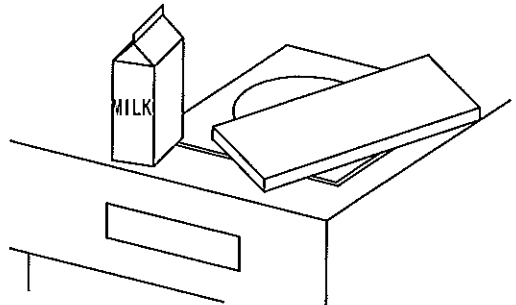
絵表示の意味について　※必ずお守りいただきたい内容を、次の絵表示で区分し、説明しています。

この絵表示は、してはいけない『禁止』の内容を説明しています。

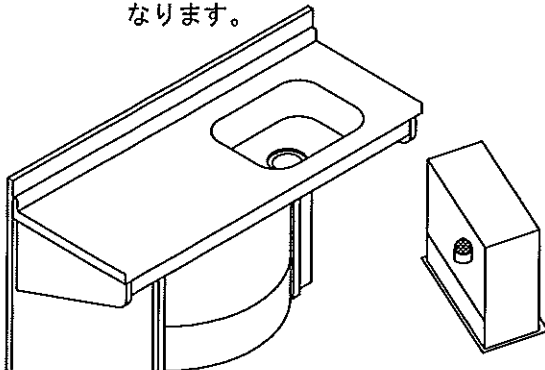
この絵表示は、必ず実行していただく『強制』の内容を説明しています。

⚠ キッチン本体使用上の注意

ご使用後やお出かけのときは調理器のスイッチが『切』になっていることを確かめて下さい。

・　火災の原因になります。

調理器の上や周囲には可燃物を絶対に置かないで下さい。

・　火災の原因になります。

キッチン本体に高い熱を出すものを近づけないで下さい。

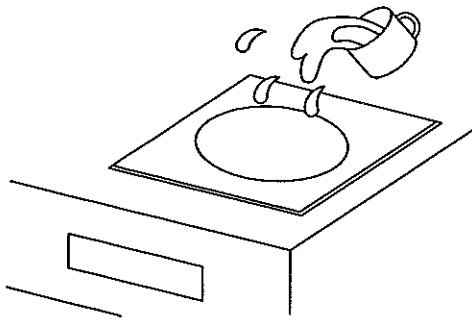
・　本体は木製のため火災の原因になります。

キッチンの上に乗ったり、ぶら下さがらないでください。

・　キッチンが落下してケガをする恐れがあります。

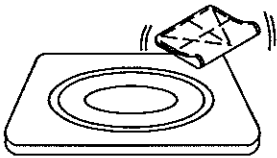
⚠ キッチン本体使用上の注意

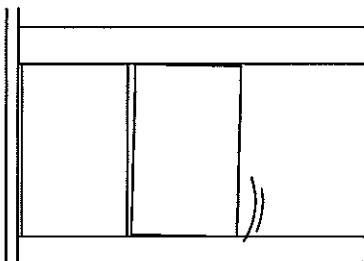
禁　止

ヒーター・スイッチや機器類に水をかけないで下さい。又、濡れた手で電気製品のプラグをコンセントに抜き差ししないで下さい。

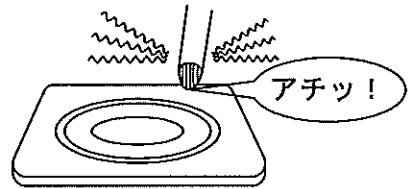
- 感電・ショートや故障の原因になります。

禁　止

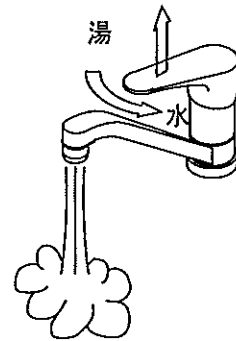
調理器を汚れたまま使用しないで下さい。

- こぼれた調理物が燃える場合があります。

扉が傾いたり、ガタついているときは丁番のネジをしめなおして下さい。

- 扉が落下し、ケガをするおそれがあります。

接触禁止

調理器の使用中や使用直後は調理器とその周辺に手を触れないで下さい。

- 熱くなっていますから、ヤケドをするおそれがあります。

混合水栓を使用するときは、必ず水から先に出して、徐々に温度を調節して下さい。

- 水栓及び熱湯で、ヤケドをするおそれがあります。
  特に、小さいお子様のみえるご家庭ではご注意下さい。

接触禁止

混合水栓の出湯時や止水直後は、金属部に触れないで下さい。

- ヤケドをするおそれがあります。

禁　止

塩素系の洗剤やぬめり取り剤を使用しないで下さい。

ステンレストップの錆びや腐食のおそれがあります。

⚠ キッチン本体使用上の注意

キッチンの用途以外には使用しないで下さい。

- ケガや、故障の原因となるおそれがあります。

本体・機器類・配線などを絶対に分解や改造しないで下さい。

- 思わぬ事故の原因となるおそれがあります。

⚠ 機器使用上の注意

キッチンに組込まれている電気製品・調理機器・その他の機器についてそれぞれの製品に添付されている取扱説明書及び本体の注意表示を必ずお読み下さい。

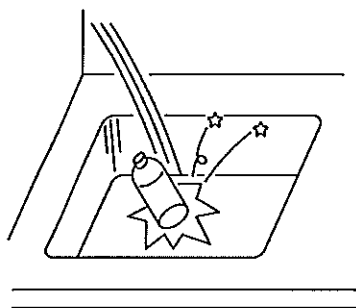
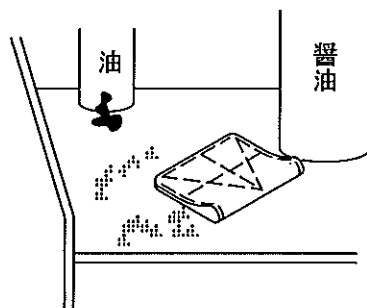
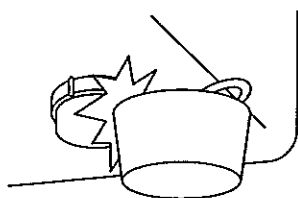
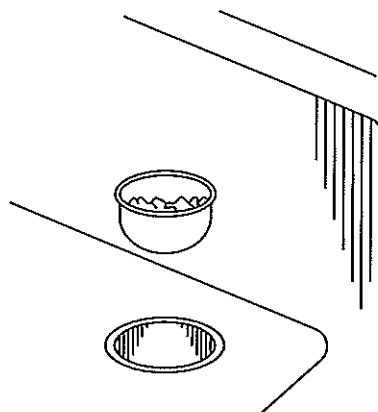
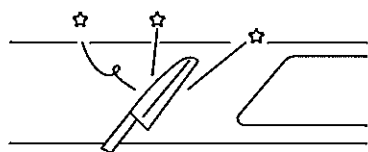
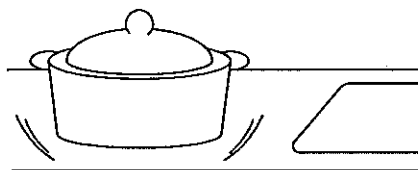
- 使い方を誤ると、思わぬ事故や、故障の原因となるおそれがあります。

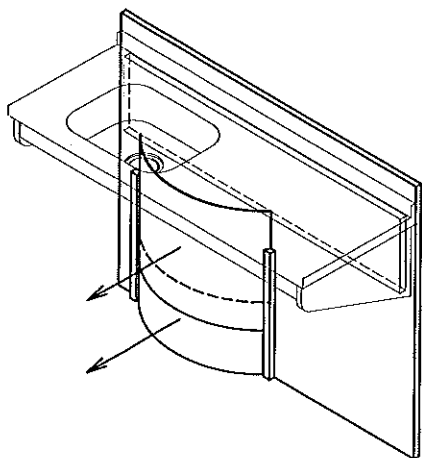
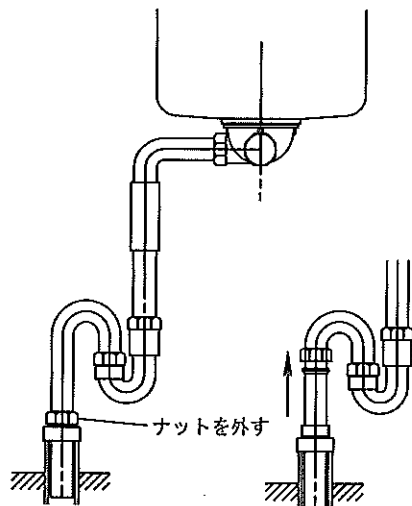
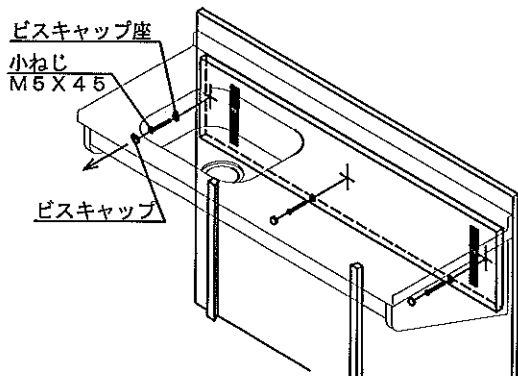
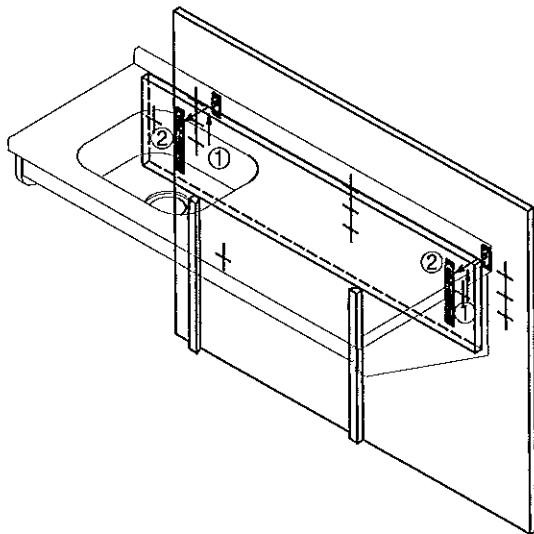
⚠ 台所用品の取扱注意

台所で使用される洗剤・殺虫剤・防腐剤・その他薬品類は、それぞれの容器等に表示されている、注意事項を必ずお読み下さい。

・　使い方を誤ると、人体に悪影響を及ぼしたり、キッチン本体や機器類が傷み、水洩れ、腐食や故障の原因となることがあります。

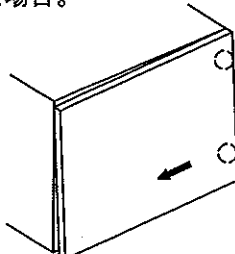
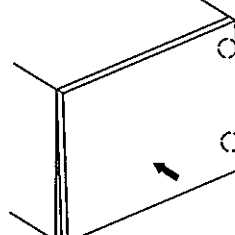
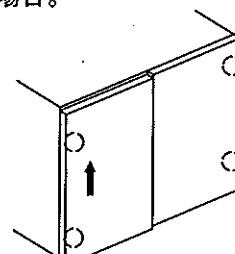
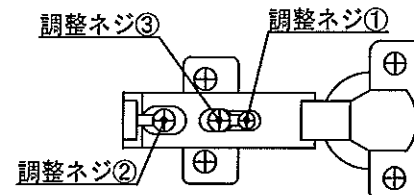
商品を長くお使いいただくために　※　必ずお守り下さい。

固いものを落とさないで下さい。
・　ステンレストップにキズをつける原因になることがあります。

汚れたままにしないで下さい。
・　腐食やカビ発生の原因になることがあります。

排水セットに物を当てないで下さい。
・　水洩れが発生するおそれがあります。

ゴミを貯めないで下さい。
・　悪臭が発生するおそれがあります。

ワークトップに対して
刃物を直接使用しないで下さい。
・　製品にキズがつく原因になることがあります。

熱いナベ等をワークトップや
キャビネット内に直接置かないで下さい。
・　変色･変形･割れ等の原因となるおそれがあります。

ワークトップの高さ変更の方法

① 配管カバー上・下を外す。

② 排水管のナットを外し、黒いゴムパッキンを上に上げる。

③ キッチンの下にある白いビスキャップを外しプラスのドライバーで小ねじ（３箇所）を外す。

④ 二人で両側よりワークトップを持ち、上に持ち上げて手前に引く。手前に動かす量は最小にしてください。

⑤ 変更したい位置になるように長穴に突起を差し込み、下に下げてください。

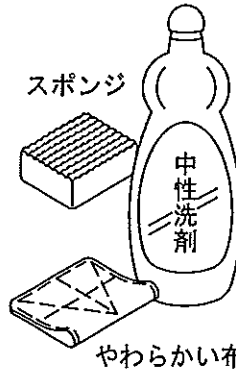
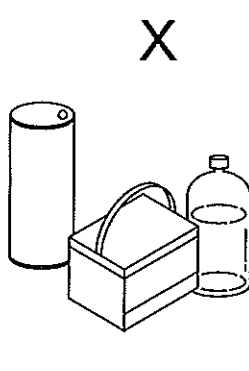
⑥ 外した小ねじにワッシャーを通して固定し、キャップをはめる。

⑦ 排水管の黒いパッキンを一杯まで下げて、ナットを締め付ける。

⑧ 給水管・排水管のナットのゆるみが無いか確認する。問題が無ければ水栓より水を出し各接続部の水漏れが無いことを確認する。

⑨ 問題が無ければ、配管カバー下を取り付け配管カバー上を取り付ける。

⚠ 小ねじで固定してあることを確認する。固定が不十分ですとキッチンが落下するおそれがあります。

扉に段差ができた

扉に傾きができたり、スキマが不均一な場合下図のように丁番を調節して下さい。

扉の傾き調整	扉のうき（隙間調整）	扉の段差調整
例えば ① 図のように扉が左下に傾いてしまった場合。 下側丁番の調整ネジ①を回して扉が矢印の方向に寄る様に調整して下さい。 調整後、必ず調整ネジ②を締付けて丁番を固定して下さい。	例えば ② 図のように扉と本体の隙間が上下で異なってしまった場合。 下側丁番の調整ネジ②をゆるめ下の丁番を奥にスライドさせて隙間を合わせて下さい。 調整後、必ず調整ネジ②を締付けて丁番を固定して下さい。	例えば ③ 図のように左の扉が下がってしまった場合。 上下の丁番の調整ネジ③をゆるめ丁番を上にスライドさせて段差を合わせて下さい。 調整後、必ず調整ネジ③を締付けて丁番を固定して下さい。

お手入れのしかた

使い終わった後のこまめなお手入れが、長持ちのポイントです。

汚れは薄めた台所用中性洗剤をつけた柔らかい布やスポンジでふき取って下さい。

・ 変色やキズの原因になりますから、薬品やタワシを使わないで下さい。

○

X

みがき粉
酸性洗剤
シンナー
ベンジン
アセトン
カビトリ剤
漂白剤
タワシ

塩素系ぬめり取
塩素系洗剤
アルカリ性洗剤

ホルムアルデヒド発散区分に関する表示

・商品名：ミニキッチン
・製造元：株式会社　亀井製作所
・内装仕上げ部分・下地部分　とも　F☆☆☆☆
・表示ルール：住宅部品表示ガイドラインによる
・製造番号：キッチン本体に貼付の銘板によりご確認下さい。
・構成材料　内装仕上げ部分・下地部分　とも

ﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ発散材料	発散区分
ＰＢ	F☆☆☆☆
合板	F☆☆☆☆
接着剤	F☆☆☆☆

・お問い合わせ先：　ＴＥＬ　０５７４－２８－７５００